

協会だよりー0411(11月号)

【トピックス】:

●第44回JSCRA会の開催

日時：11月2日(水) 筑波カントリークラブ 5組20名

●第4回目運営委員会の開催

日時：11月18日(金) 午後4:00ー ユミコアジャパン事務所

●第252回月例会講演会

日時：12月1日(水) 午後2:00ー4:00

講師：金田晃一様 NTTデータ サステナビリティ経営推進部 シニア・スペシャリスト

演題：「サステナビリティ経営におけるPCM戦略」



- 一. 協会よりのお知らせ
- 二. 「トピックス」
- 三. 「実施済事項」
- 四. 「予定事項」
- 五. 「その他・会員情報」
- 六. 「事務局より(11月度の予定)」

CRA (Japan Catalyst Recovering Association)

触媒資源化協会

3. 【実施済事項】

- ① 協会だより0410（10月号）をHPに更新・各会員並びにOB各位に配信
- ② 会員専用HPの更新
- ③ 令和4年10月月次の経費明細をPDFにて公開
- ④ 第251回月例会（WEB講演）が弊協会の正会員である田中貴金属工業(株)の金子智秋様を講師に迎えて10月25日（火）午後2：00～3：45分にTEAMSにて「PGM需給と価格動向」について講演が開催されました。金子様は入社以来30数年の経験を持ち同社貴金属市場部の副本部長をされています。進行は運営委員会メンバーの石福金属興業(株)加藤秀雄様が担当され、安田会長の挨拶で講演開始されました。挨拶で林副会長の退任と新規賛助会員として日本明京(株)が加入したことが報告されました。参加者52名

講演内容一部抜粋：

プラチナ需給について2021年供給は244.3トンを、南ア59%、ロシア8%、リサイクル21%、需給は210トンを自動車触媒用35%、宝飾用22%、硝子・化学で23%となり供給が需要を上回った。2020年はパンデミックによる生産減少やロジスティック問題などで供給が206.5トンを供給の223.9トンを下回った。

パラジウム需給について供給が315.9トン（南ア・ロシアともに26%、リサイクル33%）、需要が314.1トン（自動車触媒82%）ロシアの生産活動は継続しており、当面ストップすることはない。但し5月にロンドンマーケット協会はライセンスを取消したので国際マーケットでの販売は出来ていない。

ロジウム需給については供給35.3トン（南ア57%、リサイクル33%）、需給は32.2トン（自動車触媒91%）以前お金を出しても現物が無く買えない経験があった。今後も価格のアップダウンは継続する見込み。

今後の見通しとしては、**プラチナ**は主な需要である自動車触媒・宝飾品の需要拡大は見込みにくい状況且つその他産業用も減速傾向である。又米国のインフレ抑制を最優先とする姿勢が景気の冷え込みへの懸念がプラチナの需要減退を連想させ、相場を圧迫する可能性がある。

パラジウムはウクライナ侵攻、対ロ制裁強化、南ア大手鉱山の減産など、供給の不透明感は払拭されていない。需要は自動車分野を中心に回復の遅れが見られ、需給間の緩みとなって市場に伝搬している様子で市場の流動性が低下しており、価格の乱降下が継続する。

ロジウムは、足元では需要の先行き不透明感から軟調に推移、中国中心に実需筋は様子見姿勢が目立つ。又世界的な景気後退懸念が需給バランスを供給過剰へと押しやって価格の下振れリスクが意識されやすい模様。

4. 【予定事項】

- ① 協会だより0411（11月号）の発行
- ② 会員専用HPの更新10月度経費内容公開
- ③ 11月2日(水) 第44回JSCRA会を筑波カントリークラブにて開催。5組20名（14社）が参加予定。
- ④ 第252回講演会の参加者募集
- ⑤ 第4回運営委員会をユミコアジャパン㈱の事務所にて対面で開催します。その後懇親会を予定します。

5. 【その他・会員情報】



6. 事務局（11月予定） 出勤予定●：3日&在宅

出勤予定日：2日、18日、30日